


版 画 ～私の実践

| | | | | | | |
|--|--|-----|-------------------|--|-----|-------|
| 版画の種類 | 版 遊 び | 学校名 | 益田市立安田小学校 | | 指導者 | 葉末 泰子 |
| 題 材 名 | べたべた あそぼう →きれいなさかなをつくろう | 学年 | 2 年 生 (特別支援学級) | | 時 間 | 3 時間 |
| <p>題材のねらい ・身の回りの材料でスタンプ遊びを楽しむ。 ・版遊びしたものを使って造形活動を楽しむ。</p> | | | | | | |
| 版 遊 び の 特 徴 | <ul style="list-style-type: none"> ・版画学習の導入として、身の回りのものを使って同じ形をスタンプする楽しさを感じさせることができる。 ・スタンプ模様の色や並べ方を工夫して遊ぶ楽しさに気づかせることができる。 ・版遊びした紙に絵の具やペン等で描き加えをしたり、切り取ったりしていろいろな造形活動を楽しむことができる。 <p>* 描画材料や内容にこだわりがちな本学級児童にとって、体を動かし、自由に遊びながら表現する楽しさを感じさせることで、いろいろな表現活動への抵抗を軽減したいと考え、本題材を設定した。</p> | | | | | |
| 準 備 | <p>ポスターカラー、菓子箱（絵の具入れ） 身の回りにある材料（お菓子、化粧品の箱、ラップ、トイレットペーパーの筒等）、画用紙、色画用紙、版画用紙 はさみ、カッター、カッターマット、のり、のりつけ紙 新聞紙、洗剤、タオル、ウエス、図工用服（汚してもいい服）、子供用軍手</p> <p>* 本児は、絵の具が直接手に着くことに抵抗を感じると予想されるので、軍手を準備しておく。</p> | | | | | |

◆授業の流れ…版遊び 「べたべた あそぼう」（1時間）

造形活動「きれいなさかなをつくろう」（2時間）

| 授 業 の 流 れ | ワンポイントアドバイス・裏技 |
|---|--|
| <p>1. 版遊びをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1つの材料、1色で遊ぶ。  <ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな形を選んで遊ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ スタンプ用の材料を児童に見せ、指導者が実際にやってみせた後、児童にやらせる。 ・ 始めは1つの材料を使ってスタンプする |



・いろいろな色を選んで遊ぶ。



2. 感想を言う。

3. 片付けをする。



楽しさに気づかせ、その後いろいろな形や大きさのものを児童に提示し、児童自身を選んで遊ばせる。

* 児童の主体性を育てるために、できるだけ児童に聞いたり選ばせたりしながら活動を進めていく。

- ・色も、始めは黒を出し、その後児童に聞きながら、いろいろな色を出す。
- ・混色やスタンプング等で工夫したところがあれば、しっかり認めてほめる。
- ・ポスターカラーの各色を菓子箱に出して使う。

- ・本時の活動に楽しさを感じさせて終了する。
- ・できるだけ、児童に片づけをさせる。
- ・スタンプングの材料や絵の具入れを菓子箱にし、できるだけ紙材を使うことで、洗う作業をなくし、片づけを簡略化する。

1. 魚の形を描き、切り取る。

2. カッターで模様を切り、起こす。

- ・「きれいなさかなをつくろう」と提案し、魚の形を描き、切り取らせる。できあがった作品を見せ、制作のイメージを具体化させてから取り組ませる。
- ・魚の形がイメージできない時は、絵本を見せたり、指導者がいろいろな形を描いたりして教える。
- ・はさみを使う時、紙を回しながら切ることを押さえる。
- ・模様の入れ方を教え、実際に方法を示し



3. 裏から色画用紙を貼る。

4. 青い台紙に貼って完成させる。



てから、取りかからせる。

- ・カッターの使い方や注意等を知らせる。
 - ・カッターの刃を斜めにせず、紙に垂直に持つ
 - ・必要以上に刃を出さない。
 - ・紙を動かして切る。
 - ・使わない時は刃を必ずしまう。
- ・色画用紙を何色か出し、裏から当ててみて、気に入った色を選ばせる。

- ・最後まで完成させたことを認めてほめる
- ・完成した満足感を感じさせる。

◆ 発展

- ・今回は四つ切り画用紙を使用したけど、大用紙（全紙）等を使って、のびのびと表現させてもいいと思う。本学級児童は、セロテープの芯を使う時、周囲に絵の具をつけ、転がして遊んでいた。ラップの芯などでも同様な遊びを提案し、大きな紙で転がし遊びをするのも楽しいと思う。
- ・軍手をはめて活動したことで、本学級児童はスムーズに絵の具遊びができ、最後には軍手に直接絵の具をつけて遊ぶようになった。直接絵の具をさわることに抵抗がある児童には、軍手を使っての色遊びから入ると活動しやすいように思う。

◆ ひと言アドバイス

- ・通常の学級の場合は、スタンプングの効果を事前に予想させたり、自分が使う材料を身の回りで捜させたりしてから学習に取り組ませるが、本学級では、指導者が用意したものを使って楽しませることを継続的に体験させながら、身の回りの材料に関心を持たせていった方がよいと考えた。
- ・できるだけ紙材を利用することで、後始末がとても楽になる。ラップ等の筒やお菓子、化粧品等の小箱を利用するのもいいが、紙を丸めてボールのようになしたり筒状に丸めたりしてスタンプ遊びをしてもおもしろい。



◆ 版遊び・版画の実際と作品



実際に子どもに刷らせた方が意欲も増し、楽しく活動ができる



紙版画

「クリスマスツリーとぼく」



石膏版画

「きかんしゃトーマス」



石膏版画 「1輪車であそんだよ」